

わたしたちは、信頼と希望と愛の輪で社会をつなぎます



SSKP

いずみ

No.

168

2013年3月

社会福祉法人 泉会

法人本部
泉の家〒157-0076 世田谷区岡本2丁目33番23号
☎03(3417)3451(代) ☎03(3417)3463
izumi@izumikai.jp
http://izumikai.jp/izumi/日の出舎
就労日の出舎〒190-0182 西多摩郡日の出町平井3030番
☎042(597)1451(代) ☎042(597)2205
info@hinodesha.org
http://hinodesha.org/グループホーム
いずみ〒197-0825 あきる野市雨間322-12
☎042(550)9083
bwz12948@nifty.com岡本福祉
作業ホーム〒157-0076 世田谷区岡本2丁目33番24号
☎03(3415)3366(代) ☎03(3415)4976
okamoto@izumikai.jp
http://izumikai.jp/okamoto/岡本ホーム
玉堤分場〒158-0087 世田谷区玉堤2丁目3番1号
☎03(5707)9431(代) ☎03(5707)9433
tamatatumi@izumikai.jp
http://izumikai.jp/tamatatumi/

祝！成人式。(玉堤分場)

● 本年の聖句

主に望みを置く人は、新たな力を得、
驚のよさに翼を張ってのぼる。
走っても 崩ることなく、
歩いても 疲れない。

(イザヤ書40章31節)

『勇気と安心感を』

理事長 橋向敏治

福祉は大きな時代のうねりと変
換に遭遇していることが、肌で感じ
られます。伝統は私達に勇気と安心感を与えてくれます。一
方伝統はそれを妄信するときは、単なる陋習化し、多
くの弊害を招くことがあります。良き伝統を引き継
ぎ、伝える努力が大切であり、未来の歩みに少しでも
付加出来れば幸いではないでしょうか。福祉の基本は、利用者の持っている潜在する力と
可能性を引き出すことだと思います。本人の思いに関わり無くこの現代を日々生きるこ
とは、真剣にならざるを得ないと思います。弱者、
正直者が片隅に追いやられる風潮が再来しつつあり
ます。不利になる社会を阻止する勇気が求められま
す。大変な勇気が要ります。ノロウイルス流行により、
12月・1月にそれぞれ1名が2施設に発生し、家族
の方々にご心配をお掛けいたしました。このため新
春チェンバロ・コンサートが中止になりました。職
員の適切、懸命の努力により拡散することなく無事
に終結できたことは感謝です。人の温かさや思いやりが溢れる平和な施設が希求
されています。利用者の笑顔が溢れる、安全な、明る
い職場を創出したいものです。各施設は皆様の善意
に支えられ順調に運営されております。今後ともご
支援を頂きたいお願い申し上げます。

障害者虐待と権利擁護

「泉会」の取り組みの 現状と課題

障害者虐待防止法は、2011年6月に成立し、2012年10月に施行されました。この法律は、養護者障害者福祉施設従事者等・使用者による虐待行為を禁止しています。虐待を受けたと思われる障がい者を発見した場合、発見者は市町村へ通報することを義務づけられ、行政が実態調査し解決する仕組みが導入されました。

虐待はどの事業所でも起こりうる問題です。過去にマスコミに取り上げられた事件として、水戸アカス事件、サングループ事件、白河育成園等が挙げられます。詐欺、性的虐待、暴力等の入権侵害が相次いで起こり、改善・査察指導が入りました。そして、加害者に対して退職・懲役の処分や廃園・法

人解散となった例もあります。

これまでの虐待事例を省みると法人や事業所の支援理念の欠如が指摘されています。泉会は、2003年、経営理念方針、職員倫理綱領、職員行動規範を策定し、公正な運営を謳い、また並べた立派な決まりを作っても、絵に描いた餅、空念仏にすぎない」と指摘がありました。法人として、利用者からの信頼回復が必要と考え、今までの利用者が受けた人権侵害を把握する事を目的に、特定非営利活動法人花咲き村に調査を依頼しました。調査結果まで約2年かかりましたが、全体としては、「昔はひどかったが今は良くなっている」傾向にあるという報告でした。しかし、「利用者の立場に立った利用者主体の支援」「利用者への配慮のある対応」ができるよう職員の育成に

努めるようにとの指摘を受けました。この10年間は人権意識の向上と人権侵害のない施設を目指し取り組んで参りました。

2007年に中長期計画を策定し、理念研修や人権研修への参加を職員に呼びかけました。人権研修は、全員が受講することを目標にしています。新人職員対象の理念研修や、法人職員全体の研修会を年2回開催することが定着してきました。また、各事業所においては、職員会議等で、倫理綱領や行動規範の読み上げ、行動規範チェック表を活用し、人権や権利擁護について振り返る機会を設けています。

2012年は、虐待防止に向け法人リスクマネジメント委員会を設置し、以下の課題を検討してきました。

①法人虐待防止対応規程を策定しました。この規程では、虐待防止委員会を設置し、虐待防止啓発の研修や虐待が発生した場合の対応について定めています。また、虐待防止受付担当

者や虐待防止対応責任者を設置するなどその役割を明確にしました。

②ヒヤリハット報告書の見直しを行いました。虐待を未然に防止するには現状把握、対応策の作成や定期的な評価が重要です。その為に、事故・ヒヤリハット事例の報告を活用しています。ヒヤリハット報告は、分析と対策をたて全員で共有し利用者支援に活かします。

③虐待事例の「グレーゾーン」集約と検討を始めました。何が虐待にあたるのかを整理し、意識することは虐待の未然防止に役立ちます。

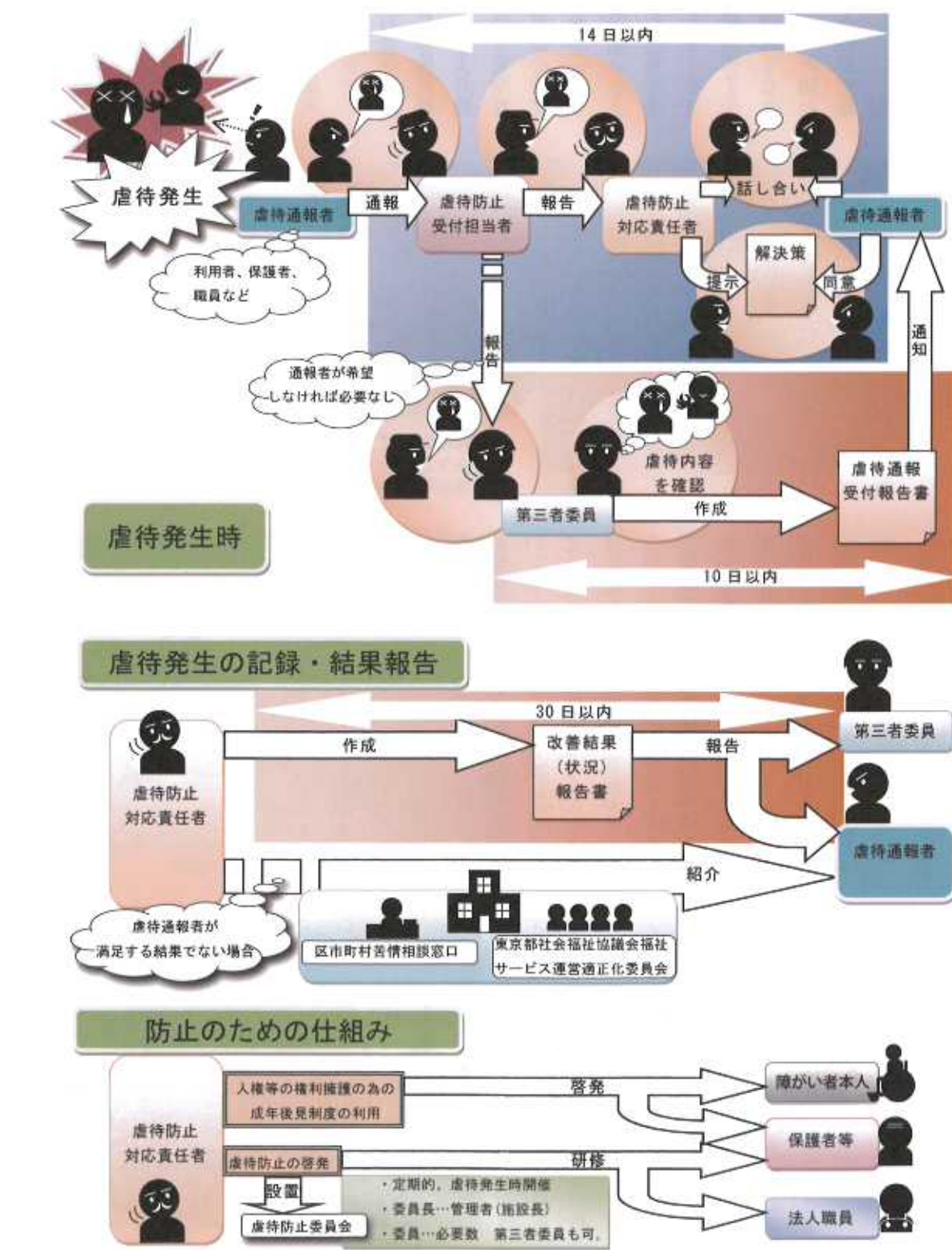
今後、取り組む課題は沢山ありますが、一方で現場で働く職員への健康管理やメンタルケア等の対策も必要です。心身ともに健康な状態で働ける環境を整える事は大切な事と考えます。また、支援の振り返りや、適切な支援方法の検討を行うことも重要です。

権利擁護への取り組みと施設で利用者への適切なサービスが行われている

れば虐待という問題は未然に防げるはずですが、そして、虐待の防止や早期の対応等を図るために、自立支援協議会などを通じて地域と連携し、虐待防止対応について取り組んで行くことや、権利擁護の仕組みが形骸化しないよう検証することも大切なことです。

泉会は、「虐待を絶対に許さない」という強い意志と姿勢のもと、虐待を見逃さない事業所を目指します。皆様のご支援ご協力をお願いします。

（岡本福祉作業ホーム 鈴木 弘士）



〈法人リスクマネジメント委員会で作成したフローチャート〉

2012年度法人研修 「職場のメンタル ヘルスについて」報告

11月17日、日の出舎を会場に法人
理念研修を開催しました。

10月1日に「障害者虐待防止法」

が施行され、施設職員の社会的責任
と利用者支援に係る責任性がより強
くなりました。利用者に安心安全な
支援を提供するには、職員が心の健
康を保持することが不可欠です。そ
のためには法人として「職員のメンタ
ルヘルス」に取り組む必要があると考
え、現在、日の出舎のカウンセラーをさ
れている臨床心理士の佐藤美和子先
生を講師にお招きしての研修となり
ました。また、この日は、理事・評議員
の皆さんも参加され、法人全体で聴
講する形になりました。



臨床心理士
佐藤美和子先生

約90分という短い時間の中で、「心
の健康とは」「ストレスとは」「ストレ
ス反応を知る」「自分のストレスについ
て知る」「ストレスの受け止め方対応
法」について、分かりやすく講義をし
ていただきました。

「自分のストレスについて知る」では、
「ディリーハッスル型ストレス」「ライフ
イベント型ストレス」などの型の説明
があり、それぞれ自分のストレスサー
（ストレスの原因となる事）について改
めて知ることが出来ました。

資料の中に「ストレスチェックリスト」
「ストレス耐性チェックリスト」があり、
講義の中で全員やってみました。「ス
トレスチェックリスト」には30項目あ
り、「よく風邪をひく」「眼がよく疲
れる」「肩がこりやすい」「寝つきが悪
い」など体調に関する質問になってい
ます。「ストレス耐性チェックリスト」に
は20項目あり、「冷静な判断をする」
「毎日が楽しい」「うらやましがる」
「感謝できる」など感情や気持ちに
関する質問となっており、心と身体
の両方からストレスをチェックしてみ
るものでした。参加者全員、時には考え
込みながらチェックしていたのが印象
的です。



心身のストレスチェックをしています



自分のストレス対応法（セルフケア）
として、ストレス状態になった時にど
う受け止めるか、どう対処するかにつ
いての説明では、自分を振り返り、隣
同士話している場面も多くありまし
た。

その後、対応法として、「問題を別
の側面から見る」「誰かに相談する」
「問題に対する知識を増やす」といっ
た「問題焦点型コーピング」の説明が
ありました。もう一つは「問題を忘れ
るために他の事に没頭する」しばらく
考えない」「飲食・スポーツなどで緊張
を和らげる」といった「感情焦点型
コーピング」です。このコーピングにつ
いては、グループワークなどで各自のや
り方を話し、意見交換などをするの
が通常だそうです。今回は時間が
取れず説明だけとなり、残念でした。
参加者からも「もっと時間を取ってほ
しかった」という声が多く聞かれまし
た。



どうしたら緊張を和らげるか！

研修終了後、全職員がレポート提
出していますので、いくつかご紹介し
たいと思います。

全レポートからは、ストレスに対す
る関心が非常に高いことが伺え、今
後も継続課題とし、法人全体で取り
組んでほしいという意見が多く書か
れていました。また、ストレスチェッ
クリストの結果から、自身を振り返り、
気づきや今後について率直に書かれて
おり、「自分のストレス・パターンを知る
ことができた。」「思ったよりストレス

耐性が高かった」「知らずにストレス
解消行動をとっていた」「ストレスが高
いことに気づいていなかった」など、改
めてストレスと向き合う機会にした
職員が多く見受けられました。
「チームで乗り越える」「チームメン
バーの変化に気づき、サポートする」
「職場内でストレスを出せる環境」と
いうように組織全体で考えていこう
とする意見も管理職のみならず多
かったです。



懇親会で佐藤先生との意見交換

仕事をしていく上では様々なストレ
スが発生します。私生活でもストレス
は発生します。今回の研修は、皆さん
が自分のストレス反応を知り、その対
処法を増やすお手伝いが出来たので
はないかと考えます。法人としても、
今回の研修をスタートとし、今後もメ
ンタルヘルスに取り組む体制を法人諸
会議で検討し、構築していきたいと思
います。

利用者により良いサービス提供を
するために、職員が喜びや達成感
を持ち、そのことを共有できる「働きや
すい職場」の実現に向け、全職員で取
り組んでいきたいと思っています
（岡本福祉作業ホーム 上原 絹代）



泉の家だより

「隠れ家カフェ」

ご存知の通り、泉の家には「ブースカフェ」というお店があります。利用者の方々がカフェ業務を行い、接客から調理まで職員と協力しながらお店を回しています。

営業時間が短く、閑静な住宅地で人通りも少ない事もあり、日中お客様でいっぱいというわけにはいきません。また、メニューも、軽食やデザート、飲み物を中心で、それ程凝った物を提供出来るお店ではありません。それでも、昼食時を中心に、近隣の方や、お仕事で近くに来た方、それに、わざわざお店を目指して遠方から来てくれる方まで色々なお客様がいらっしゃいます。

また「ブースカフェ」には、ギャラリースペースがあります。こちらには、壁一面と小さな展示台に作品を展示する事ができます。色々な方が作品を、ご覧になるので、小さなノートを置き、作品の感想なども書いていただくことも出来ます。

来ていただいたお客様は、きれいで

静かなお店で、ゆつくりとした時間を過ごしていただける事をお約束します。是非度お茶でも。

（福田 公英）



ギャラリースペース無料貸し出しします。ご連絡下さい！

玉堤分場だより

「利用者会」玉堤オールスターズ「親睦会」

玉堤分場では、去年の年末に利用者親睦会を開催いたしました。

例年、外食をしていたのですが、去年は利用者が話し合いをした結果、みんなでも何かを作ろう（お味噌汁とデザート）ということになり、当日はお弁当購入、お味噌汁（小松菜とかぶと油揚げのお味噌汁）と、デザート（チョコバナナマフィン）、それと会場飾り付けにわかれ準備をしました。

予定時間をわずかに過ぎての昼食会



もちつき、ベッタン！！

（親睦会のはじまりとなりましたが、みんなの口から出た言葉は、「美味しい」という言葉と、お互いの、ねぎらいの言葉でした。）

互いに感謝し合うことの出来た親睦会は、二年を締めくくらすばらしいイベントとなりました。

その後に待っていた大掃除も、みんなどこか楽しげで、協力しあって隅々まで掃除をすることができました。

（津島 将次）



全員分切るのは大変でした！



頑張って飾り付けの準備をしています

日の出舎だより

「餅つき」

1月19日（土）晴天 2012年度日の出舎 餅つきを開催しました。餅つきは4日つきました。沖倉さんの掛け声で大変盛り上がり、笑いの中楽しく餅をつく事が出来ました。今年はいそぎ、きんぎょ、ずんだ、大根おろし、いそぎ巻きの6種類の味でバラエティー豊かなお餅を提供出来ました。白でつい



6種類の味を用意しました

た餅は良く伸びてとても美味しかったと大好評でした。おかわりに来た利用

者も大勢いました。

おかわりは、ご自分の好きな味を選んで頂いたので、あんなだけの方やきなことだけの人がたつたりとそれぞれに満足されていました。

新しい建物になって初めての餅つきだったので計画の段階で色々見直しも有り、心配致しておりましたが大成功で終わる事が出来ました。参加ご協力いただいたボランティアさんにも感謝申し上げます。

（遠藤 千鶴）

月替わりで行う事になりました。

小坂邸は正式名称「瀬田四丁目広場」といいます。国分寺崖線の縁辺部で自然と建物が一体となった、日本ならではの美しさを感じさせる空間となっています。岡本ホームからはドミニコ学園の坂をのぼりおりしなくてはならないのですが、当番月には利用者と運動がてら納品や集金に出かけています。

販売を始めてからまだあまり日が経っていないせいか売上も期待したほどではありませんが岡本ホームを少しでも知っていただく機会になればと思っています。皆さまも小坂邸の縁側でのんびりしてみませんか？

（国生 いづみ）

グループホーム いずみだより

「わたしのお正月」

児玉 恵美子さん

私は、家へ帰ることができないので秋頃からいろいろ考えていたけれど、健康のこともあって、あまり遠出をしないで立川のバレスホテルに泊まって好きなところに遊びに行くことにしました。ヘルパーさんではなく私のことがよく分っているいずみのスタッフにお願いすることにしました。12月30日から1月2日まで泊まりました。とてもきれいで、親切で食事とてもおいしかったです。映画を見に行ったりデパートで美味いものを買って食べたりモノレールに乗ってキティちゃんのいるサンリオピューロランドへ行ったり、とても楽しかったです。



キティちゃんと一緒に記念撮影

岡本ホームだより

「小坂邸での販売」

「小坂邸（旧小坂順造氏の別邸）で



サンリオピューロランドの前で



夕暮れの小坂邸



住所 瀬田4-41-21
営業時間 9:30～16:30
休日 月（月曜日が祝日の場合次の平日） 年末年始
入場無料

（販売コーナー）

一九七七年十二月三日第三種郵便物認可(毎月二、三、五、六、七の日十八回発行)
 二〇一三年二月十一日発行(SSKKP通巻五三〇一号)

緑あつて泉会 小原けい子さん



前回の号でも紹介させていただきましたが、泉の家には、多くのボランティアの方が来ていただけるようになりました。今回は、日中活動や行事等でお世話になっている、小原けい子さんを紹介します。

泉の家でボランティアをするきっかけは？

「泉の家は、若い方から高齢者の方まで色々な年代の方達がいます。どの様にコミュニケーションを取っているのか、ボランティア活動を通して学びた



色々な活動に参加していただいています

かった事が一番のきっかけでした。」

今までボランティアの経験はありましたか？

「高齢者介護施設と保育施設でのボランティア経験があります。」

小原さんから見る、泉の家の魅力とは？

「利用者さん・職員さん共にとても明るく、一人ひとりが嘘無く体当たりで接している事がとても素晴らしいと思います。」

「泉の家」は「家族」そんな施設だと思っています。年齢はバラバラですが、毎日笑い声が絶えないとても魅力的な施設だとも思います。」

今後、やってみたい事などがありましたら教えてください

「泉の家では、主に生活介護事業の活動に参加しています。今後は、生活介護だけでなく、色々な活動を経験したいと思っています。」

また、個人的にはメンタルケア・アドバイザーの資格を活かし、色々な方の



先日感謝状を贈呈いたしました

心のケア、心の拠り所になれるボランティアが出来たらいいなあと思っています。」

小原さんには、多い時には週3回以上来ていただいています。活動のサポートだけでなく、ご自分の経験を活かした提案などもしていただき、利用者の方だけではなく、我々にとってもとても貴重な存在です。

誰にでも同じように接し、利用者の方にいつも丁寧な応対をしている小原さんの姿勢は、我々職員が学ぶべき所が多々あると感じています。

これからも、宜しくお願い致します。

（聞き取り 石黒 貴之）

発行所 障害者団体連絡会 四国支部 四国支部
 編集人 社会福祉法人 泉会

第4回成城音楽祭チャリティーコンサート

日 時：2013年4月19日(金)
 開 演：18時00分～20時00分終演予定(開場17時30分～)
 場 所：成城ホール(東京都世田谷区成城6-2-1)
 TEL 03-3482-1313
 共 催：社会福祉法人泉会・泉会後援会、いずみ友の会
 東京成城ロータリークラブ
 後 援：世田谷区・ロータリー財団
 入場料：無料(会場での募金活動にご協力をお願いします)
 申込先着：297名
 問い合わせ先：泉の家 TEL 03-3417-3451



チェロ 三宅 達



ピアノ 小林 五月

お三人によるクラシックコンサート